

文教厚生委員会

7月29日調査

調査項目 学校施設の現状と今後の整備計画について

学校施設の現状と今後の整備計画については、市内7校の主な修繕箇所等を調査しました。校舎の中には、築25年以上経過し、屋根・外壁・内装ともに老朽化しており、修繕が必要な箇所が多数見受けられました。今回、特に緊急を要すると思われるのは、下稲吉小学校の職員室の床であります。床張りを貼りかえないと、安全性の面からも懸念があり、早急に改修することを教育委員会に要望しました。



▲下稲吉小学校

産業経済委員会

6月29日・7月5日・8月26日・9月20日調査

調査項目 鶏卵施設の臭気対策について

石岡市にあるつくばファームの悪臭については、以前より近隣住民から苦情が出ているため、委員より意見を聴取し、現地調査を行なった結果、県へすぐにでも調査に行くべきだと言う意見でありました。そこで7月5日に、茨城県農林水産部畜産課に調査に行き、当市の現状と県の対応について、関係する部署との調整をお願いして参りました。



▲つくばファーム

調査項目 石岡市において発生した鳥インフルエンザウイルスの経過報告について

埼玉県の農場において、鳥インフルエンザウイルスH5亜型の抗体陽性が確認され、この農場へつくばファーム、イセファーム美野里農場、イセファーム涸沼農場から鶏が持ち込まれたため、立入検査が行われました。その結果、この3農場で抗体が確認されました。これに伴い、県は関連3農場を中心とした半径5km圏内について、移動制限区域として指定しました。当市では助役を本部長とする警戒本部会議を設置し、県の指示を受け対応しています。また、市民に対して、愛玩用のシャモ、チャボ、烏コッケイなども感染をすることから、移動の自粛をするようにと言うチラシを配布したとの報告でした。当市内では、5農場で抗体検査を実施しましたが、いずれもウイルスは検出されませんでした。つくばファームの12鶏舎のうち1鶏舎でウイルスが発見され、1鶏舎の約10万羽が殺処分されています。

建設委員会

8月4日・8月26日調査

調査項目 市道②644号線改良について 市道⑥6号線新治橋改良について

「市道②644号線改良について」、深谷・大和田バイパス建設計画については、現在までに、地権者、区長さんへの事業概要の説明等を実施し、地元の方の反対もなく、本年度より工事を着手する予定です。工期は本年度より5年間で平成21年を目途期間とし、合併市町村幹線整備緊急支援事業に位置づけています。

「市道⑥6号線新治橋改修工事について」は、法線の見直しを踏まえた中で、3つの案に絞り込み、いずれの案が良いか、執行部とともに調査を進めました。走行性・安全性は元より、地権者や区長さんをはじめとした関係者への説明会の開催も含め、無理・無駄のない事業を進めていくよう意見が出され、結果として、法線は変えずに、現道の位置に橋を架け替える方向で、改修工事を進めることが、一番良いであろうとの結論に達しました。



▲新治橋

神立駅周辺地区整備調査特別委員会

8月9日開催

調査項目 神立駅周辺の整備を促進するための調査

平成12年から土地活力再生拠点整備事業として、土浦市・旧霞ヶ浦町・旧千代田町において、事業化し整備案の策定をしてきた経緯がありました。また、3市町住民で組織された神立駅周辺整備推進協議会が設立され関係機関と連携し推進を図ってこられました。今後、土浦市及びかすみぐうら市神立駅周辺地区整備調査特別委員会並びに民間で組織する神立駅周辺整備推進協議会が協力し、地域住民の利便性の向上や商業活動の振興を図るために、当委員会が協議・調整の窓口となって推進していくことを確認しました。神立駅周辺は、駅前広場及び駅舎の整備は元より、慢性的な交通渋滞にあるとの結論に達し、渋滞緩和を図るうえで道路網の整備促進を第一目標に掲げ進めていきたいと思っています。